

1 罪名別犯罪認知件数等

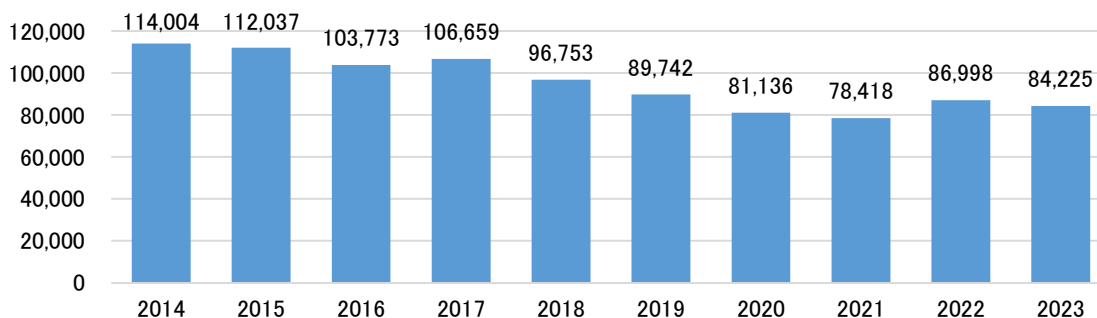
	ブルガリア			日本	Bを100とした場合のAの指数
	認知件数	対前年増減率	A:人口10万人当たりの件数(※2)	B:人口10万人当たりの件数(※3)	
総数(※1)	84,225	-3.2%	1,306.8	565.6	231.0
殺人	223	-16.2%	3.5	0.7	471.8
強盗	899	-0.3%	13.9	1.1	1,274.5
不同意性交等	106	-9.4%	1.6	2.2	75.4
不同意わいせつ	251	+14.1%	3.9	4.9	79.4
放火	971	-9.5%	15.1	0.6	2,445.8
略取誘拐・人身売買	129	+19.4%	2.0	0.4	473.2
窃盗	26,153	-7.4%	405.8	389.0	104.3
交通事故死者数	524	-1.3%	8.1	2.2	377.5

※1 刑法犯認知件数。ブルガリアの刑法と日本の刑法では内容や範囲が異なるため、刑法犯として計上の対象となる罪名も異なる。

※2 ブルガリア統計局ウェブサイトに掲載の人口統計をもとに、644万5千人として計算。

※3 日本統計局による人口推計をもとに、1億2,435万2千人として計算。

2 ブルガリアにおける刑法犯認知件数の推移



3 主な地域(※4)における犯罪認知状況

	ヴィディン	ヴァルナ	ヴラツァ	ブルガス	スタラ・ザゴラ	モンタナ	ソフィア市	ロヴェチ
認知件数(※5)	1,121	6,436	2,071	5,138	3,774	1,504	15,232	1,343
人口10万人当たり	1,525.3	1,493.2	1,381.1	1,356.4	1,287.3	1,283.9	1,192.4	1,175.5

※4 人口10万人当たりの認知件数上位8位までの市・県を抜粋。

※5 人及び物に対する犯罪(殺人、傷害、強盗、窃盗等)の件数を比較。

4 当館コメント

2022年、ブルガリアにおける犯罪認知件数は前年と比べて約1割増加しましたが、2023年は前年比約3%の微減となりました。しかしながら、人口10万人当たりの犯罪認知件数を比較すると、ブルガリアは日本の約2.3倍で、罪名別にみると殺人は約4.7倍、強盗は約12.7倍と、凶悪犯罪について非常に高い水準にあります。

人口10万人当たりの犯罪認知件数を地域別にみると、主要リゾート地を含むヴィディン、ヴァルナ、ヴラツァ、ブルガスといった地域が上位を占めたほか、同数値は8割以上の地域で前年から増加しており、多くの地域における体感的な治安の悪化が懸念されます。